梅檀

双葉南小学校だより
発行日2011，1,11
№　２４
発行責任者　末永幸弘

三学期スタート

明けましておめでとうございます。昨年中はいろいろご支援、ご協力有難うございました。本年も変わらずのご支援を宜しくお願いいたします。

三学期始業式校長挨拶より

皆さん、新年、明けましておめでとうございます。

今日は寒い日になりましたが、元気に登校した皆さんに会えて嬉しく思います。

二週間ほどの休みでしたが、クリスマスやお正月と楽しくすごせましたか。一年の計は元旦に有りという諺があります。「計」は「計画」です。

「月令広義」という本に「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり、一生の計は少壮の時にあり。」と書いてあります。意味が分かりますか。

一日の計画は朝の内に、一年の計画は元旦（一月一日）の内に、一生の計画は若い内にしっかり立てなさいという意味です。しっかりと、一日のめあて、一年のめあて、将来の夢をもって、努力してほしいと思います。

昨年は、いろいろ努力した人の話をしましたが、ここでクイズを出します。「９時間46分１秒」「何の時間でしょう。」「・・・・」「スポーツの世界記録です。」「マラソン？」「なわとび！」「そうです！」

これは、一回もひっかからず飛び続けたなわとび世界記録です。鈴木さん（鈴木勝己）という人が今から30年前に作った記録です。この記録は今も破られていません。鈴木さんは、もうすぐ70歳になるそうですが、今もトレーニングを休まず、なわとびで数々の世界記録を作っているそうです。とんでいる姿を見たください。（ビデオ）

鈴木さんは、小さいとき病気がちで体育も見学ばかりだったそうです。そんな鈴木さんに一年生のとき、先生が「なわとびやってみない？」と誘ったそうです。最初に跳べたのは一、二回。それでも練習を続け二年生のなわとび大会で二重跳びを２０３回跳んで学校で一番になりました。

二年生が一番になったのですからすごいですね。大きくなった鈴木さんがある時、新聞を見るとアメリカのバリーさんという人が４時間跳び続けて世界記録を打ち立てたという記事が載っていました。鈴木さんはその時すでに５時間跳んだ経験があったのです。新聞社やテレビ局がそのことを知ると、挑戦を持ちかけてきました。挑戦は成功して４時間22分の記録を作り世界一になりました。ところがすぐ、アメリカのバリーさんが５時間の記録で追い抜いたのです。鈴木さんもすぐまた挑戦し、５時間11分で抜き返す。するとまたバリーさんが６時間の記録。鈴木さんも再び挑戦し６時間12分。抜いたり抜かれたりが続きました。

鈴木さんは、考えました。「他人の記録ではなく、自分自身に挑戦しよう。自分の限界に、目標は１０時間。」飲まず、食わず、トイレもいかない。足のつめははがれ、マメもつぶれ・・・達成したのがこの記録です。

こつこつ努力を積み重ねることが大切ですね。

さて、三学期は、登校する日が50日です。三学期は、一年間のまとめの学期です。一年生は二年生へ、二年生は三年生へというように一学年ずつ進級する準備の学期です。特に五年生は、もうすぐ小学校の最高学年となります。また、六年生はすぐ中学生へ進学です。一月はいってしまう、二月は逃げていく、三月は去ってしまうとよく言います。あっという間の短い学期です。一日一日大切にすごしてください。

インフルエンザなど罹らないよう気をつけてください。

地域を知る

二学期12月16日（木）にＰＴＡ研修視察が実施されました。「地域理解を深める」ということで、町議会の傍聴、民族資料館、野菜（ほうれん草）農家見学が行われ、有意義な研修となりました。研修というと遠くへ出かけることが多い中、自分たちの町を見直す良い機会となり好評でした。

ほうれん草農家では、収穫も体験させていただき、お土産つきの楽しい研修となりました。